

2025年12月11日
京成電鉄株式会社

さらなる輸送の安全確保のために 「異常時総合訓練」を実施しました

突発的に発生した竜巻による脱線事故を想定

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:天野 貴夫)では、2025年12月11日(木)に宗吾車両基地(千葉県印旛郡酒々井町)において「異常時総合訓練」を実施しました。

この訓練は、12月10日(水)から始まる「年末年始輸送安全総点検」の一環として、社員一人ひとりの安全意識の高揚を図るとともに、多くのお客様がご利用になる年末年に合わせて、重大事故発生時における迅速な対応力・技術力の向上を目的として、毎年この時期に実施しています。

詳細は、以下の通りです。

1. 日 時 2025年12月11日(木) 9時00分～12時30分
2. 場 所 京成電鉄 宗吾車両基地
【所在地】千葉県印旛郡酒々井町下岩橋
3. 参 加 者 京成電鉄、京成建設、佐倉警察署、酒々井消防署
日本盲導犬協会、大学コンソーシアム市川、国際医療福祉大学
合計 200 名
4. 訓練概要

【想定】

突発的に竜巻が発生し、この影響で京成臼井～京成佐倉駅間走行中の列車
が踏切道付近で倒壊した家屋の瓦礫に乗り上げ脱線、レールが損傷。さらに、踏
切遮断機と付近線路脇柵の倒壊および電車線の断線が発生。

【内容】

- (1)災害現場(脱線・電車線断線等)における復旧作業
- (2)災害対策本部・現地対策本部の設置や関係各所との連携
- (3)ドローンを使用した災害現場の状況確認
- (4)点検箇所から災害対策本部へのリアルタイムでの情報伝達
- (5)乗務員による列車防護、車椅子や白杖をご利用のお客様を含む旅客の
避難誘導
- (6)警察・消防との連携(脱線現場での現場整理、負傷者救護)

5. 訓練の様子



電車線復旧訓練



信号機倒壊復旧訓練



当社社員と救急隊による避難誘導



ドローンでの被害状況確認



軌道復旧訓練



脱線復旧訓練

以上